

平成18年度 事業評価書

| | | | | | |
|-----------|----------------------|------|-------|------|-------|
| 地 域 名 | 岩手県住田町 | 選定年度 | H16年度 | 事業規模 | 小規模事業 |
| まちづくり協議会名 | 住田町森林林業日本一の町づくり推進協議会 | | | | |
| モデル事業名 | 森林林業日本一の町づくり推進事業 | | | | |

1. 事業の実施状況

| | | |
|-------|-------|---|
| 委託事業 | H16年度 | 普及啓発事業として、森林・林業体験教室、森林インストラクター養成講座等の開催。森林学習資料を作成した。 |
| | H17年度 | 普及啓発事業として、森林・林業体験教室、森の案内人講座、FSC森林認証公開講座等の開催。木質バイオマス普及パンフレット等を作成した。 |
| | H18年度 | 森林・林業体験教室、森の案内人講座、木質バイオマス発電及びペレットボイラーの説明用パネルを作成した。 |
| 交付金事業 | H16年度 | 木屑焚きボイラー整備事業として、木工団地内で発生する木屑を燃料とした木屑焚きボイラーを設置。 木質ペレットストーブ普及事業として、一般家庭等へ木質ペレットストーブを導入。 |
| | H17年度 | 発電施設等整備事業として、H16年度に設置した木屑焚きボイラーの蒸気による発電施設を設置。また、隣地に建設される園芸ハウスへの、同ボイラーからの蒸気及び同発電施設からの電気の供給設備を整備。 木質ペレットストーブ普及事業として、一般家庭等へ木質ペレットストーブを導入。 |
| | H18年度 | 木質ペレットボイラー導入事業として、町内観光施設にある風呂の石油ボイラーにペレットボイラーを追加整備。 木質ペレットストーブ普及事業として、一般家庭等へ木質ペレットストーブを導入。 |

2. 評価・分析

| | | | |
|---|---|---------|---------------------------|
| ①事業の特色・モデル性 | <p>森林地域としての特性を活かしたハード整備を行うとともに、森林・林業に係る人づくりにも取り組んでおり、その取組は評価できる。今後も引き続き交付金で導入した設備を活用した普及啓発を行うなど、地域内での更なる展開を期待したい。</p> <p>木工団地内で発生する木屑を木材乾燥用等の燃料として活用する取組は、二酸化炭素排出量を削減するとともに、燃料費等のコスト削減にもつなげており、初期投資の回収期間が3年以内と経済性が高く、民間の理論においても導入でき、モデル性の高いものである。</p> <p>林業日本一を目指す町として、木工団地活用と人材育成の両輪をうまくつないでおり、同じ山間地のモデルとして生かされるもので、高く評価できる。</p> | | |
| ②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等) | 二酸化炭素排出削減効果 | 備 考 | |
| | 目 標 値 | 6,777 | H16年度、H17年度事業分 |
| | 実 績 値 | 6,533.7 | H16年度、H17年度整備施設のH18年度稼働実績 |
| (目標値・実績値単位:t-CO2/年) | | | |
| <p>木屑焚きボイラー整備事業について、概ね目標通りの成果が得られている。木質ペレットストーブ普及事業については、気象条件に左右されるものの、目標を達成しているとは言えないため、適切な維持管理等の一層の努力を期待する。</p> | | | |
| ③経済活性化効果 | <p>木屑焚きボイラー整備事業について、従来廃棄されていた木屑を重油の代替燃料として活用したことにより、重油購入費、廃棄物処理費が軽減されており評価できる。</p> <p>木質ペレットストーブ普及事業については、ストーブとペレットの販売額を経済活性化効果としているが、ペレット・灯油価格の推移や設備の使用状況等の変動要因も含め、灯油換算額との比較も考慮してはどうか。</p> <p>木工団地の活性化だけでなく、森の案内人を育成したことにより、森が主役の町づくりに繋がり、都市と農山村交流が活発になり、エコツアー対象地としての経済活性化効果も期待できる。</p> | | |

| 地 域 名 | 岩手県住田町 | 選定年度 | H16年度 | 事業規模 | 小規模事業 |
|-------|--------|------|-------|------|-------|
| ④その他 | | | | | |